

市議会だより

第28号

発行 安曇野市議会
平成24年11月7日



紅葉の山口家



安曇野秋の陣（豊科東小学校）

主な内容

contents

- ・平成23年度決算について……………2
- ・平成24年度一般会計補正予算(第2号)の概要 ……4
- ・安曇野市議会議員定数条例について……………5
- ・9月定例会一般質問・市政のここが聞きたい ……7
- ・常任委員会の視察報告……………17
- ・ピックアップ常任委員会……………18
- ・市民の声・編集後記……………20

市議会ホームページ

<http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html>

議事録閲覧

http://www.gijiroku.jp/gikai/c_azumino/index.html

人口と世帯 平成24年10月1日現在（ ）内は対前月比

人口 99,473人 (+81) 男 48,271人 (+40) 女 51,202人 (+41) 世帯 37,682世帯 (+42)

9月定例会は決算審議

財政規模と決算概要(一般会計)

(単位：千円)

	平成23年度	平成22年度
歳入総額	38,220,428	38,093,398
歳出総額	37,933,765	37,784,617
財政力指数	0.583	0.610
経常収支比率	82.6%	80.9%
経常一般財源比率	95.5%	93.2%
実質公債費比率	12.9%	13.6%
将来負担比率	35.0%	49.0%

監査委員意見

■ 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書及びその付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数等は関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、正確であるものと認められた。また、各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係諸帳簿と符合し、正確で、運用状況についても適正であると認められた。予算執行状況は、その目的に沿って概ね適正に執行されているものと認められた。

■ 総括意見

- 平成23年度(以下「当年度」という。)の一般会計・特別会計(計12会計)を合わせた総決算額は、歳入総額が60,755,393千円、歳出総額が60,216,085千円となっており、前年度に比較すると歳入で1,218,739千円、歳出で1,198,788千円、それぞれ増加した。
- 決算収支では、歳入歳出差引残額(形式収支)から翌年度への繰越財源となる一般財源を控除した実質収支額は、一般会計で178,682千円、特別会計(12会計)で252,644千円となり、総額で431,326千円の黒字決算となった。また、当年度実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、一般会計で47,909千円、特別会計で48,019千円の黒字となり、総額では95,929千円の黒字となった。
- 次に、普通会計における財政指標についてみると、財政力の強さを示し、1に近いほど財政力が強いとされる財政力指数は0.583で、前年度の0.610と比較し0.027ポイントの低下となっている。
- 収入未済額は1,964,681千円と多額であるため、自主財源の確保と税負担の公平性の観点からもより一層の改善に努力されることを要望する。
- 下水道特別会計については、過去5年間不納欠損処理をした実績がない。成果をあげている収納課と同様に徹底的な財産調査を行い、差押執行等により収入未済額を減縮させ、消滅時効を防ぐとともに、案件によっては、法令等に則って不納欠損処理等を慎重かつ厳正に行うよう要望する。

討論

■ 反対討論

平成23年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について23年度の連結決算で910億円の借金、128億円の臨時財政対策債の累積、多くの問題を残した決算であった。このような状況で、市民の要望との関係、市民の暮らしや市の財政のあり方、十分検討の余地があると思う。本日に納税者の苦しい立場が23年度の決算に生かされているのかという点に大変疑問を持つ。こういう点で借金財政を解消し、そして納税者の立場に立った決算・予算が主である必要がある。そういう見地に立ちこの決算に同意できない。承認できない。

■ 賛成討論

決算認定は我々議会が認めた予算が議会の議決どおり執行されているか、その執行は公正にやれているのか、関連法規に従って適当に執行されているかということが認定の主要なチェックポイントである。また、環境経済員会では審査項目の対象外ではあるが、農林部、市民環境部、商工観光部の3部の目的内の流用について、その状況も審査した。いずれにしても、この会計を不認定とするほどの事案は見当たらなかった。従って、本案には賛成である。

安曇野市平成23年度決算

東日本大震災の影響や景気低迷が依然として続く中ではありますが、平成23年度一般会計歳入決算額は前年度対比0.33%増の382億2042万8千円、歳出決算額は前年度対比0.39%増の379億3376万5千円となり、歳入歳出差引残額は2億8666万3千円となりました。翌年度に繰り越すべき財源1億798万1千円を除いた実質収支は、1億7868万2千円の黒字となりました。

なお、下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算については、認定はされませんでした。

一般会計・特別会計歳入歳出決算状況

(単位：千円)

区分		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
一般会計		38,220,428	37,933,765	286,663
特別会計	同和地区住宅新築資金等貸付事業	2,168	2,140	27
	国民健康保険	9,800,664	9,623,164	177,500
	後期高齢者医療	831,781	819,698	12,083
	介護保険	7,139,234	7,091,431	47,802
	下水道事業	4,467,711	4,458,039	9,672
	農業集落排水事業	186,692	186,000	691
	上川手山林財産区	3,699	1,710	1,988
	北の沢山林財産区	436	268	167
	有明山林財産区	1,173	234	938
	富士尾沢山林財産区	893	113	780
	穂高山林財産区	860	104	755
	産業団地造成事業	99,647	99,413	234
計	60,755,386	60,216,079	539,300	

※歳入歳出差引残額の数値相違は端数処理によって生じたもの。

決算に関する質疑 Q&A

- Q** 市の宿泊施設の有り方、今後の運営について。
- A** 現状の分析と、施設の譲渡、使用形態の転換等を含め十分に整理検討する必要がある。
- Q** 経営戦略会議、行政経営会議の内容と結果について。
- A** 市政運営基本方針、政策及び重要施策についての確率的な判断を行うため設置した。23年度は69案件を審議検討。
- Q** 市長交際費が年々増えている。見直しの必要があると思うが。
- A** 儀礼的な形の欠くことのできないものである。会費については市長自ら自己負担でと、積極的に取り組んでいる。
- Q** 太陽光発電と自然エネルギーに対する市の考え方は。
- A** 住宅の太陽光発電システムに対して設置補助をしている。合併時点から約1800件のお宅に
- Q** 補助金を有効活用したい。
- A** 住宅用雨水貯蔵施設設置補助について。補助率は2分の1。
- Q** 雨水の有効活用、地下水の涵養、災害時の生活用水の確保と、積極的に取り組んでいきたい。
- A** 有害鳥獣駆除対策と狩猟者の確保と課題について。
- Q** 以前は鳥獣害対策1本でやってきたが、23年度から予防部会と駆除部会と分けて対応した。課題は捕獲部会の人材不足である。
- A** 下水道事業特別会計の負担金及び分担金の不納欠損についての再発防止は。
- Q** 職員の認識不足・管理不足であり、法に基づいた滞納処分をしてこなかった。徴収体制を職員の増員等によって強化し、早急に対応する。また、収納課と連携して再発防止に努める。

安曇野市議会議員定数条例について

- 議員提出第7号 安曇野市議会議員の定数を定める条例
- 議員提出第8号 安曇野市議会議員定数条例
- 議員提出第9号 安曇野市議会議員定数条例

議席	議員氏名	会派名	第7号 議員定数 (24人)	第8号 議員定数 (25人)	第9号 議員定数 (28人)
1	荻原勝昭	無所属連合	—	—	○
2	小松洋一郎	しん風会	—	○	—
3	猪狩久美子	日本共産党 安曇野市議団	—	—	○
4	畠山倉光	信進クラブ	○	—	—
5	小松芳樹	公明党	—	○	○
6	藤原陽子	公明党	—	○	○
7	高橋浄	しん風会	—	○	—
9	山地重雄	無所属連合	○	—	—
10	召田義人	しん風会	—	○	—
11	内川集雄	常念会	○	—	—
12	相田登美枝	無所属連合	○	—	—
13	小林紀之	信進クラブ	○	—	—
14	小林純子	無所属連合	○	○	—
15	大月晃雄	常念会	○	—	—
16	松澤好哲	日本共産党 安曇野市議団	—	—	○
17	松尾宏	平	—	—	○
18	下里喜代一	日本共産党 安曇野市議団	—	—	○
19	平林徳子	信進クラブ	○	—	—
20	松森幸一	公明党	—	○	○
21	浜昭次	平	—	—	○
22	黒岩宏成	信進クラブ	○	—	—
23	宮下明博	信進クラブ	○	—	—
24	吉田満男	無所属連合	—	—	○
25	丸山祐之	平	—	—	○
26	藤原廣徳	信進クラブ	○	—	—
27	山田高久	常念会	○	—	—

議員提出第7号 (議員定数 24人)

<反対>

・安曇野市議会をどのような議会にしたいか、しなければならぬかを提示して、市民の意見を聴取することが必要であるが、そのような議論をしていない状態での削減数を出すということはまだ拙速であり、反対である。

<賛成>

・議員、また議会の権能をどのように自覚して議員一人一人が変わっていくか、その議会の覚悟を示すためにも、4減とする本条例案に賛成である。
・アンケートの中に議員定数を大幅に削減してほしいという、市民の声がたくさんあったのは事実である。その声に謙虚に耳を傾け、スリム化された議会がレスポンスよく議会活動したいと思ひ賛成である。

議員提出第8号 (議員定数 25人)

<反対>

・合併特例債期間10年間プラス5年延長された今、市の将来を見据えた議論もまだない。安曇野市独自の対応がもう少し必要ではないか。行政と今後対峙していくため、議員定数のあるべき姿について議論していないため、反対である。
・我々の市議会がどうあるべきか、将来を見て判断すべきであると思うので、3減というのはまだ拙速であり反対である。

<賛成>

・1人でも議員が減ればその分議員歳費が減る。税金の無駄遣いがなくなるという考えも市民の中にはある。しかし、安曇野市は合併してまだ7年である。歴史的にも浅く、まだまだこれからだ。同一市の平均定数25で、まず条例制定をすべきと考え賛成である。
・議論はこれまでにできなかった。市民の望む議員定数減、それから市民の信頼回復のために、議会としてもこれだけ定数減を考慮しているという観点から言えば、4減がだめであれば3減に賛成である。

議員提出第9号 (議員定数 28人)

<反対>

・3年もかけてまだ議論が足りない。これでは本当に何年かければこの論議が終結するのか。現在の世論からしても、そして行財政改革からしても、議員みずから削減をしていかなければならないと思うので反対する。
・3万6,800枚、全戸配布したアンケートは一体何だったのか。人数において、ここで数人削っても中身に問題はない。数よりも中身を充実させていくやり方は十分にあり、反対する。

<賛成>

・定数28名を妥当と主張するものではなく、定数削減への市民世論もふまえ、議会改革の議論を深め、取り組む中で、そう遠くない将来に議員定数のあり方を見直す必要があると意見を付して現時点で賛成の意見とする。
・合併のとき28に削減したわけだが、合併前の84人と安曇野市の有権者はかわったのか、合併前の方が市民の意見を議会に届ける、行政と対応するということはできていたのではないかとと思うので賛成する。

平成24年度 一般会計補正予算(第2号)の概要

補正予算額 4億9,800万円
補正前の予算額 370億6,700万円
補正後の予算額 375億6,500万円

主な歳入について

繰越金 1億2,868万2千円
市民税現年課税分 3億4,000万円
普通交付税 1億5,549万5千円
旧合併特例事業債 1億7,780万円
臨時財政対策債 3,329万7千円
固定資産税現年課税分 6,900万円

主な歳出について

基金積立金 1億284万8千円
老人福祉総務費 2,033万9千円
公立保育園整備費 2,021万1千円
生活保護総務費 2,171万5千円
予防接種事業 2,056万3千円
豊科体育施設管理費 1億4,920万円

◆質 疑

Q 豊科体育施設管理費1億4,920万円のグラウンド購入費や、霞堤の目的、使用目的、道路対策について伺う。

A グラウンドの鑑定額は5,300円/㎡。霞堤は一時的に洪水を遊水させ、洪水の広がりを防ぐ役割を持っている。使用目的は、野球のリトル、シニアの人はもとより、サッカーコートが2面とれ、多くの市民に活用していただく。道路対策については、造成工事時はアルプス大橋左岸を下流に向かう道を利用し、恒久的なアクセス道路は、地元の住民と現在協議を行っている。

人事案件

- ・宮澤豊弘氏の教育委員会委員の任命について同意した。(任期 平成24年11月9日から4年)
- ・神戸美佳氏の固定資産評価審査委員会委員の選任について同意した。(任期 平成24年11月9日から3年)
- ・清野昌訓氏の人権擁護委員の推薦について適任とした。(任期 平成25年1月1日から3年)



10月7日安曇野ICに名称変更

Table with 3 columns: 議案番号, 内容, 結果. Lists various council resolutions and their outcomes.

修正案 Table with 2 columns: 件名, 結果. Lists amendments and their results.

請願 Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists petitions and their results.

議員提出議案 Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists resolutions proposed by council members.

平成24年安曇野市議会9月定例会審議結果

市長提出議案

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists resolutions proposed by the Mayor.



国の施政と今後の市の行財政運営について

無所属連合 吉田満男

問 国においては赤字国債の発行に必要な特別公債法案が不成立となつた。県支出金等、市収入への影響は。また合併特例債の5年延長を踏まえた中、利用方法及び消費

限が5年間延長をされたい。今後この事業手続を進める上で、財政計画の見直しは当然必要になつてこようと考える。その財政計画の見直しにおいて、現時点における予測が最も困難なのは、やはり消費税の影響だと捉えている。

り、一つの年度に偏る状況も想定される。特に平成25年度については、市本庁舎建設により増加となるが、他の事業時期などを適正に見極めて借入額の平準化に努める。問 新本庁舎の必要性について市民への問いかけは。市長 これからの次代を担う皆さんの後年度負担をなくし、そして市民の憩いの場としても活用していただくための施設であるので、ご理解をいただきたい。



地産地消エネルギー利用の一層の展開を

無所属連合 山地重雄

問 昨年9月定例会に続いて質問する。松くい虫による森林被害は長野県全体に及んでいるが、伐倒燻蒸処理はもうイタチゴッコの限界ではないか。抜本的対策の考えを問う。市長 市は特に被害が拡大した平成18年度以降、国や県の補助金を確保しつつ、対策として伐倒燻蒸処理を積極的に進めてきた。しかし限界である。よって被害の進んだ地域においては赤松を相当量伐採し、林相転換が必要と鋭意検討している。また切り倒した木のバイオマスエネルギー利用も考えている。

から受け継いだ地域の材は地域のために用いた。今回の調査では被害材等を薪ボイラー燃料として使用するための研究を進めた。県林務課とも視察を行ったが灯油と比べコスト的にも注目すべきと考える。継続中の調査において実地試験を行い有効性を確認できれば、平成25年度において明科地域「天平の森」施設への導入を考えている。問 昭和30年代までは多くの人が山へ入り、多大な労力のもとに木々を薪炭材として活用してきた。いつしかエネルギーは金を出して買うものになったが、今日、地元の森は地元で守るというメッセージを行政が発することは意義深い。この自然エネルギーの利用は枯損木のみでなくして、現在策定中の「しゃくなげ荘」整備計画にも反映させ、広く推進すべきと考

える。見解を問う。商工観光部長 ご質問の通り、しゃくなげ荘を中心とする一帯には手入れのされていない森林が多く、ここに松くい虫の被害が及ぶと大きなイメージダウンになる。森林環境の保全は観光面からも非常に重要である。しゃくなげ荘については今議会にプロポーザル予算を計上しているが、その中で付帯的事項として薪ボイラー導入における設備改修のコストや考え方の提案も求めている。農林部の研究成果を生かしたい。新たな雇用の創出も期待でき、地域資源を自然エネルギーとして活用することは、エネルギー地産地消のモデルケースになると考える。



薪ボイラー利用の鮫川村保養施設



通学路の安全確保に特化した道路等の施設整備を

公明党 松 森 幸 一

問 本年4月に亀岡市で発生した登校時の痛ましい交通事故を受け実施された通学路の「緊急合同点検」の実施状況、対策が必要な危険箇所への今後の対応を伺う。

教育長 市教育委員会、都市建設部、安曇野警察署、学校、PTA、国及び県の道路管理者が一体となって、改善要望がある緊急性の高い通学路を選定して、7月25日から8月6日の3日間32カ所の危険箇所の点検を行った。

都市建設部長 対策が必要とされた箇所については、関係機関と連携・検討し、11月末までに具体的な対策案ならびに実施状況等を県に報告することになっている。道路管理者としては、早急に対策に着手し、既存予算で対応が図れない場合は予算の確保等に努め計画的に実施をしたい。

問 通学路の安全確保に効果があるとされるグリーンベルト等のカラー塗装による道路標示を市内全般に拡大すべきと考えられているが、取り組みを伺う。

都市建設部長 グリーンベルトについては、穂高地区で360m、豊科地区で140mを整備した。歩道を設置するには、時間や費用等もかかることから、今後も緊急性また即効性が求められる場所では、計画的に対応していきたい。

問 通学路の安全確保に特化した道路等の整備を、市の施策・事業の1つと位置づけて、整備計画の策定や予算枠の確保等、今後の継続的また恒常的な取り組みを要望するが見解を伺う。



グリーンベルトが整備された穂高北小の通学路

市長 道路は、全ての交通弱者の皆さんに対して、また市民が快適な暮らしをする上で、総合的な安全対策が必要と考えられている。道路整備は、総合計画の「安心・安全・快適なまちの形成」に位置づけられており、道路環境や公共交通網の整備・充実に向けた取り組みと合わせ、道路利用者の安全確保は、欠くことのできない課題である。特に、子供たちの通学路における安全確保は、緊急の合同点検結果を受け早急に対応を図りたい。具体的な安全点検については、策定中の後期基本計画において検討をしたい。

【その他の質問事項】
○第1次総合計画の後期基本計画の策定状況について



市長の政治姿勢について

平松 尾 宏

問 特例債に関する考え方と、期間が5年延長になったことで、それに伴う活用及び見直しをどのように考えているか。

市長 中長期の財政状況を踏まえ、実施計画や財政計画の策定をし、それに沿って有効に活用していく。

問 算定替え及び一本算定した交付税と、計算上の特例債使用限度額及び現在までの予定されている使用金額は。

企画財政部長 24年度の普通交付税の算定で算定替99億5千万円、一本算定72億1千万円で差額27億4千万円。特例債使用限度額は計算上49.4億8千万円、使用金額は23年度末で13.3億4千万円である。

問 期間延長による見直しの時期は。

企画財政部長 25年度から再度、消費税を考慮して見直す。

問 三郷総合支所の支所及び公民館耐震診断実施設計は24年度であるが進捗状況は。

総務部長 建築後30年で床暖房が既に使用不能である。耐震診断等は、庁舎の方向性を探り、その結果を見て考える。

問 三郷庁舎の不具合の原因と、公の施設の耐用年数の考え方は。

総務部長 村当時の段階では、それがベストであったのではないかと。また公の施設は、設備や機能、それから経済的な理由で判断する。尚、鉄筋コンクリートの事務所という定義での耐用年数は、約50年である。

問 今後、支所は公民館等の複合施設となる。その管理体制は。

総務部長 分離体制、複合体制等今後明確化する。

市長 数値目標で表せない難しさがある。人材育成の中心となる制度。これから職員の能力に応じた適材適所主義で、効果的な人事配置をする。

問 多くの部長が短期交代している状況に対する考えは。

市長 せめて任期をと、お願いしたが途中でやめた部長は3名いたが、今後は部長の職責を十分果たせると確信している。

問 一つの事業を行う時はその事業の全体像を描き、順次着工をすべき、また庁内では各部門間の連携と協働が機能しているか。

市長 庁内会議は部長クラスに課長、担当者を加えた。横の連携を期待している。

問 市の宿泊施設の基金の扱いに変更はないか。

農林部長 慎重な対応が必要ではないかと研究をしている。



安曇野の地下水・財政の危機、庁舎建設の前提に疑問

日本共産党安曇野市議員 松 澤 好 哲

地下水条例の問題点と今
問 1、安曇野市地下水保全対策研究委員会の答申についての受け入れられること、受け入れられないこと。
2、エアW株式会社と地下水の汲み上げ上限・1兆円産業の法人税固定資産税は市に入るか。
3、安曇野の共有財産についての市長の姿勢を問う。ソニーやエプソンと違い共有財産である地下環境資源の直接汲み上げをどう考えるか。

市長 1、市は初めからこの指針の全てを条例に盛り込むというわけにはいかない。
2、条例は今年度中に涵養面積の拡大を図り地下水資源の強化・活用、経費を検討し段階的に進める。
3、市民・企業共通の認識を行政と一体で理解しあえる環境をつくる。

総務部長 法人住民税は連結グループ全体の連結法人税額である。単体で計算している。
市民環境部長 市民、事業者、ミネラルウォーター事業者や利用されている方に、広く薄く負担を求めているのが基本理念です。一般市民、400円から1200円までの負担の試算がある。

【要望】 農業者の負担を少なくする。企業が大量に汲み上げた分を皆で負担するのではなく、企業自身負担にするのが重要。
23年度決算と安曇野市の財政と新庁舎
問 23年度の連結決算は910億円の借金、その中に、臨時財政対策債128億円の累積である。かさむ借金は後年度負担になる。足りなければ借金で埋めて健全だというのは通用しない。やめて

もらいたい。
市長 一般会計の増額の原因は議員言われる通り臨時財政対策債ということである。今後の財政は出来るかぎり健全財政を堅持していく。

問 宮澤市政のあり方は専決処分、不納欠損、随意契約大問題だ。
庁舎建設の1万8000㎡7階でも4階でも63億円は変わらないとしてきた。しかし国の地方債同意等基準運用要綱では4階と7階では1㎡の単価は異なるとしていた。22年12月に作成された。建設費の63億円が積み重ね方式でなく金額ありと合せて聞きます。
総務部長 実施設計では積み上げ方式をとっている。総務省の基準単価算出した。



市の債権管理や収納体制その現状と課題について

無所属連合 小 林 純 子

問 市は収納体制の強化に取組み、コンビニ収納、催告コールセンターの設置、地方税滞納整理機構との連携等により成果を上げてきた。ところが、この8月、下水道受益者負担金5千200万円余りが時効で徴収権が消えるなどして、不納欠損となるものが判明した。その原因と今後の対応について聞く。

市長 今回の不納欠損額では、市民には大変な迷惑をかけた。職員の徴収業務に対する基本的な認識がおろそかになっており、職務怠慢の状況があった。各担当の事務について掘るべき法令等の内容を確認し、職員が共通認識をもって業務執行に当たる体制づくりを進め、再発防止に努める。
総務部長 各課が扱う様々な料金等(市の債権)の滞納額を減らしていくためには、賦課(請求)

をする課と収納業務を行う課のそれぞれが、収納に関する知識を備えている必要がある。収納課だけでなく十分に行けるものではない。今以上に横の連携を密にして収納業務の効率化を図っていく。

問 今回の不納欠損について、下水道部としてどう受けとめているか。
下水道部 幾つかの問題点等があるが、結果的には職員の認識不足と管理不足により、時効中断のための差し押さえができて、さらには債権債務が消滅しているにもかかわらず不納欠損処理を怠ってしまっただけで、現在の反省をふまえ、適正な未収金の徴収に向けた取り組みを進めている。部内において担当職員の充実を図るとともに、ほかの職員についても滞納処分等の専門知識を習得するよう指導する。

組みを強化して頑張るだけでは到底解決しない大きな問題だ。収納対策本部や連絡調整会議があっても、十分に機能していかなかったところもある。この際、債権回収対策室を設けて全庁の意識を高めるなかで債権管理をやっていくということ、そしてその基本となる債権管理条例を定めることが必要ではないか。
総務部長 債権回収対策室や債権管理条例については、他市の状況や先進地等を調査し、安曇野市に合ったものを整備するよう前向きに検討する。また、さしあたって収納や債権管理の基本方針がない課には、早急に作成するよう指導する。



下水道終末処理場・アクアピア安曇野のシンボル

安全性の低い道路と交通安全等について伺う



常念会 内川 集雄

問 議会だより27号裏面、市民の声「危険と隣り合わせの通学路」小中学生を持つお母さんの声が寄せられた。市長に市民の声を聞きどのような考えをお聞きする。

市長 通学路で子ども達が犠牲になる痛ましい交通事故が全国で発生している。このことは十分承知している。将来を担う子ども達の通学路の安全は喫緊の課題。安全対策は市民の願い要望に応えられるような予算措置に向け、できる限りの取り組みをしたいと考える。

問 文科科学省通達、24学健第6号(平成24年5月30日)を受け通学路の交通安全点検を実施した。どのように実施したかお聞きする。

教育長 7月25日から8月6日の間、各学校から危険箇所と挙げられた32ヶ所の危険箇所の点検を教育委員会、学校、PT

問 A、都市建設部、安曇野警察署、国・県の道路管理者と合同で行った。報告された代表的な危険箇所をお聞きする。

教育長 豊科東小学校・野田信号交差点。明南小学校・国道19号線ガード

問 レールがない。堀金小学校・県道57号歩道と車道の区別がない。三郷小学校・小倉北、山麓線スピードを出す車が多い。

市長 穂高南小学校・柏原穂高線、民家等見通しの悪いヶ所(過去に小学生の飛び出し事故発生)。他に歩道が狭い。路上駐車が多い。側溝、水路等にふたが必要。歩道分離信号設置希望等。

問 車歩道分離されている指定通学路小学校では7%。中学は、24%教育委員会として、この数字を見て都市建設部にどのように訴えているかお聞きする。

教育長 全体的に分離が進んでいない。子ども達の安全を第一と捉え、通学路の安全マップを製作している。通学路の安全に努め、教育委員会として積極的に都市建設部と連携協議するなかで実現に向け努力する。

問 通学路(市民も通る)勾配のある橋梁(光橋)冬期間、凍結による子ども達の転倒事故が起きている。路面ロードヒーティング等の検討を。

都市建設部長 橋長440m、勾配2%通学路では唯一の急勾配の橋。道路管理者安曇野建設事務所に話をさせて戴く。

【その他の質問事項】
○障がい者・高齢者に優しい道路について

進んでいない。子ども達の安全を第一と捉え、通学路の安全マップを製作している。通学路の安全に努め、教育委員会として積極的に都市建設部と連携協議するなかで実現に向け努力する。

問 安曇野市では男女とも25人に一人は糖尿病あるいは糖尿病予備軍だそう。人工透析者の人数も増加、脳梗塞や心筋梗塞での死亡も全国や長野県と比較しても多い。特定健診の受診率を上げ、病気の早期発見、早期治療は欠かせない。受診率向上に向けての考えを聞く。



市民の命と健康を守る市政を

日本共産党安曇野市議団 猪狩 久美子

問 安曇野市では男女とも25人に一人は糖尿病あるいは糖尿病予備軍だそう。人工透析者の人数も増加、脳梗塞や心筋梗塞での死亡も全国や長野県と比較しても多い。特定健診の受診率を上げ、病気の早期発見、早期治療は欠かせない。受診率向上に向けての考えを聞く。

市長 アートによるまちづくりは市の文化向上はもとより全国発信することによって観光立市を目指すもの。アートによるまちづくりで成功した自治体としては、小布施町や由布市(旧湯布院町)などがある。市長はアートによるまちづくりについてどのような見解を持っているかを伺う。

市民環境部長 「広報あづみの」で特定健診の特集を行い、広報チラシを配布するなどの制度周知と人間ドック補助の拡大に取り組んできた。60歳以上の通院治療者の医療機関で実施した検査結果の受領に取り組み、24年度からは対象年齢を40歳以上に拡大し、長野県平均受診率40%を上回ることを目指す。

問 先進の尼崎市では健診への周知、啓蒙は住民組織を通じて、あるいは町内の回覧、掲示板、メ

ディア、健康教育の実施、医療機関との連携など幾重にも対策がとられている。健診実施会場も本庁、公民館、集会所、福祉会館、小学校など何箇所にも及ぶ。土日の実施、出前健診、レディース健診もある。安曇野市でも参考になる内容はあるか。

健康福祉部長 幾多の案を研究したい。

いじめ・不登校対策について
問 平成23年度の成果報告ではいじめや不登校は減少傾向にあり、不登校対応の成果は上がっているとある。しかし、不登校の数は目に見えないこと

が多い。いじめに関して減少傾向ではなく、むしろ広がっている、あるいは潜在化、陰湿化している可能性もあるという立場での防止策を考えるべきではないか。

教育長 子供たち自身が自分たちの力でなくそうということは大変だ。道徳、学活、学級指導等の時間を使い、いじめについて考え合う。命を大事にする、そういう機会はずべてとっている。

問 一件でも命に危険が及ぶような内容であれば、あつてはならない。そういう状況をつくらない、出さないということ

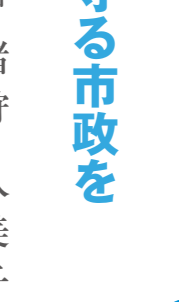
を基本に据えて進める。
問 子供たち自身が話し合い、子供たちの力を信頼して解決していく場を設けていくことは大事ではないか。

教育長 子供たち自身が自分たちの力でなくそうということは大変だ。道徳、学活、学級指導等の時間を使い、いじめについて考え合う。命を大事にする、そういう機会はずべてとっている。

問 インターチェンジの名称変更に伴い豊科近代美術館の名称を安曇野市立美術館に変更をし、市内で何が行われているか案内をする電光掲示板を用意することはどうか。

市長 美術館の名称変更については地域のみならずのおもいもあり、一定の理解が必要なので時間と機関における検討が必要だと考える。電光掲示板については宣伝効果と費用対効果も考えながらもう少し内部で検討をさせていきたい。

問 イベントも発信力のあるイベントに絞って取り組み、どこにもあるような形でなく市独自のものを全国発信していくような観点からの検討は



尼崎市の生活習慣病予防ガイドライン

なされたか。

教育次長 全国発信するのにどういったイベントが良いか安曇野らしさが出てくるかについて研究し、進めたい。

問 インターチェンジの名称変更に伴い豊科近代美術館の名称を安曇野市立美術館に変更をし、市内で何が行われているか案内をする電光掲示板を用意することはどうか。

市長 美術館の名称変更については地域のみならずのおもいもあり、一定の理解が必要なので時間と機関における検討が必要だと考える。電光掲示板については宣伝効果と費用対効果も考えながらもう少し内部で検討をさせていきたい。

問 イベントも発信力のあるイベントに絞って取り組み、どこにもあるような形でなく市独自のものを全国発信していくような観点からの検討は

なされたか。

教育次長 全国発信するのにどういったイベントが良いか安曇野らしさが出てくるかについて研究し、進めたい。

問 インターチェンジの名称変更に伴い豊科近代美術館の名称を安曇野市立美術館に変更をし、市内で何が行われているか案内をする電光掲示板を用意することはどうか。

市長 美術館の名称変更については地域のみならずのおもいもあり、一定の理解が必要なので時間と機関における検討が必要だと考える。電光掲示板については宣伝効果と費用対効果も考えながらもう少し内部で検討をさせていきたい。

問 イベントも発信力のあるイベントに絞って取り組み、どこにもあるような形でなく市独自のものを全国発信していくような観点からの検討は

「小型家電リサイクル」の展望について



公明党 藤原 陽子

問 8月3日、「使用済み小型電子機器等資源化促進法」が成立した。有用金属を含むものが多いのにもかかわらず、大半が最終処分場に埋め立てられ、環境保全や、健康上の問題もあるといわれている中、ようやく循環資源としての取り組みである。安曇野市において今後、小型家電リサイクルについてどのように進んでいくのか質問する。

市長 リサイクル可能な物は再資源化を進めていくという必要性は十分に認識をしている。来年4月を目前に、レアメタル等希少な金属などが含まれる小型電子機器などの再資源化を促進して、資源の有効利用を図ることが目的であり、市町村が回収した小型電子機器等を確実に適正なりサイクルを行うことを約束した者が、国が認定した事業を実施するものであると

承知している。法律が公布されたばかりであり、具体的な内容についてはこれからである。今後の動向を踏まえ、モデル事業や、先進地等の事例を参考に検討をしていく。

問 新潟市において回収ボックスで取り組んでいる。回収を前提に具体的な回収を行うためには、市内に設置する回収箱の設置数と、設置場所は大きな課題である。また、現時点では96品目が対象となっているが、形態が小さいもので、たくさんレアメタルが含まれている物を対象にした方が非常に効率的であるとの観点で評価した場合、10

数品目が対象となる。その点も含めて検討する。

問 新潟市において、回収箱に出された小型家電は、リサイクル業者と、障がい福祉サービス事業所が回収し、市から買い取る。その後解体し、専門業者に売却するが、安曇野市において、社会就労センターで解体し、民間に売却するというしくみは可能か?

健康福祉部長 市で回収するという前提であるが、リサイクル業者と施設事業者の需要と供給であり、回収費用、工賃の問題があり、検討する。



新潟市内に設置の回収箱

【その他の質問事項】
○子ども達にがん教育を○子ども発達支援相談室



国旗の掲揚について (議場に・祝日の家庭に)

常国会 山田 高久

問 平成11年に「国旗・国歌法」が制定され、国の衆参議場、都道府県議場の全議場に掲揚されている。しかし全国市町村議場は約半数の自治体に止まっている。長野県は5/77で全国ダントツ最少である。富山県は15/15、滋賀・栃木・茨城・岡山・大分・石川県でも殆どの市町村で掲げている。幸い心ある市民から請願が出されたが、市民から言われるまでもなく議会及び執行機関双方の課題であるので議場へ「国旗・市旗」を掲揚し一体感の醸成をと思うがいかがか。

市長 議場の管理は議会事務局に委任している。議会で決めていただければ議会の意志に従う。

教育長 市長同様議員の皆様と協議いただければと考えている。

問 合併して7年になる。市旗の無いのが寂しいが、

総務部長 今作成に向け準備を進めている。

問 各家庭での祝日の「国旗」掲揚、戦前は多くの家で旗日とし日の丸を掲げ祝っていた。しかし国の象徴である国旗が素直に掲げられない不思議な現象にある。全国には購入補助をしている自治体もあるが、安曇野市はどう考えるか。

市長 掲揚については強制すべきものでなく自主的判断に任せる考えだ。

教育長 統制できるものでない。購入への補助は考えていない。



元気あふれる まちづくりについて

無所属連合 相田 登美枝

問 新庁舎建設は必要。安曇野市の心臓部。市長の新庁舎建設への思いと元気あふれる安曇野、まちづくりについての抱負、また、質実剛健の意が強く、夢がない。具体的イメージを伺う。

市長 安曇野市になって8か所に分散した機能の集約を図り、無駄を省き、市民の安心安全、防災体制の強化等、合併特例債を有効活用、市民に愛され、夢と希望を託せる庁舎を目指している。

総務部長 先の「東日本大震災」以降、庁舎は防災拠点としても、「市民に愛され、次世代に引き継がれる」が基本理念になっっている。全体像は近隣や周辺の景観に配慮し、外装は地元産の木材を採用、安曇野の景観に溶け込んだ庁舎になっている。1階には喫茶コーナー、4階にはアルプスの眺望スペースと休憩室

を設け、豊科近代美術館や図書館に來られた皆様にお客様にも気軽に立ち寄れる、魅力ある庁舎づくりを目指し、進めている。

問 いよいよ安曇野インターに名称変更。安曇野の元氣と魅力発信、PRにイベントの発信はとても大切。補正予算に安曇野ハーフマラソン調査費が計上された。ハーフマラソンへの助走が始まったとみる。あとは商工観光部長の強い決意と意気にかかっている。伺う。

商工観光部長 ハーフマラソンは期待の事業。大変な準備を要す。一過性のものではなく、継続することが大切。今回の調査内容については12項目を依頼。今後、関係団体、市民を含めて、次のステップへと進めたい。

安曇野市空き地(未利用地)の有効活用について

問 最低賃金労働者より受給者の方が所得が多い現象が発生している。真に生活に困窮している人達に適正にとどめているか現状と取り組みを聞く。

市長 年々増額しており約8億5千万円である。雇用が重要なので就労指導に力を入れている。

健康福祉部長 平成20年267世帯であったものが、現在451世帯である。不正の立入る余地のないよう支給している。



松枯れ被害をこれ以上 広げないために

日本共産党安曇野市議団 下里 喜代一

問 松くい虫による松枯れが猛威をふるっている。地球温暖化による生態系の乱れ、山林整備の不十分さ、外材輸入によるセンチュウが日本に入り込んできたことなど複合的要因があり、これ以上の被害を広げない方策が必要だ。松くい虫の駆除、薬剤の樹幹注入、間伐・炭焼きの奨励、樹種転換(落葉樹、針葉樹のバランスのとれた山)、土壌改良など打つべき手はどうか。

農林部長 伐倒燻蒸処理で媒介するカミキリの密度を抑制して蔓延を防ぐ。樹幹注入は、庭木、神社仏閣の赤松に適用しているが、薬剤は市価で2万5千円かかる。被害木のチップ・粉砕による処理で、作業道に敷きつめる。間伐は地域の理解が必要。免疫力アップのために灰、炭の散布で土壌の改良も検討したい。

農林部長 伐倒燻蒸処理で媒介するカミキリの密度を抑制して蔓延を防ぐ。樹幹注入は、庭木、神社仏閣の赤松に適用しているが、薬剤は市価で2万5千円かかる。被害木のチップ・粉砕による処理で、作業道に敷きつめる。間伐は地域の理解が必要。免疫力アップのために灰、炭の散布で土壌の改良も検討したい。

農林部長 伐倒燻蒸処理で媒介するカミキリの密度を抑制して蔓延を防ぐ。樹幹注入は、庭木、神社仏閣の赤松に適用しているが、薬剤は市価で2万5千円かかる。被害木のチップ・粉砕による処理で、作業道に敷きつめる。間伐は地域の理解が必要。免疫力アップのために灰、炭の散布で土壌の改良も検討したい。



松食い虫対策について

信進クラブ 宮 下 明 博

問 今まで広がりを防ぐための伐倒燻蒸処理を3年間で約2億2780万と出来る限りのことはしていたと思うが、今年度は、今までの被害状況とは全く違うが、その認識と今後の対応をどう考えているか。

市長 押野山から北に伸びる中山地域の被害はまさに甚大で、市政を預かる者として、大変心を痛めている。伐倒燻蒸処理が効を成さない現実のため、昨年度から国の補助対象から外され、処理が進まない大変厳しい状況となっている。見過ごすわけにはいかないので、新たなより効果的な対策に大きく転換したい。

問 転換する具体的な対策と内容について。

農林部長 激甚地の被害木については、迅速な整理が必要だと考えている。そこで、国の新規事業「更新伐」内容的には、

問 森林組合をはじめ関係団体での協議会の設立で新しい対応策をとるべきではないか。

農林部長 明科、東山の豊科地域の対策協議会を9月末につくり、方向づけをした。

問 環境基本計画も位置づけ、市の財源確保で樹幹注入の薬剤購入補助などできるようにするべきではないか。

農林部長 駆逐費用、樹幹注入への補助を検討し、間伐事業は県とも相談し財政的にも市に負担にならないよう対応したい。

オスプレイ配備・低空飛行訓練 ノー1

問 いつ落ちるともわからない欠陥輸送機オスプレイを北アルプス上空に低空(地上60m)で飛行訓練する計画は許せないと思うがどうか。

市長 北アルプス周辺の被害木を含め、赤松の70%を伐採、搬出をし、残り30%を健全な里山にするという新たな事業に取り組むという考えである。

問 是非早急に進めて頂きたいが、24年度の事業として間に合うのかスケジュールを聞きたい。

農林部長 個人所有地がほとんどなので、地域の合意形成がまず必要で、議論の場を早急に設け、地元の合意を得て県と協議するなかで、今年度、モデル事業として一番激甚なところから、対応したい。

問 森林組合をはじめ関係団体での協議会の設立で新しい対応策をとるべきではないか。

農林部長 明科、東山の豊科地域の対策協議会を9月末につくり、方向づけをした。

問 環境基本計画も位置づけ、市の財源確保で樹幹注入の薬剤購入補助などできるようにするべきではないか。

農林部長 駆逐費用、樹幹注入への補助を検討し、間伐事業は県とも相談し財政的にも市に負担にならないよう対応したい。



オスプレイ ノー10万人集会

問 是非早急に進めて頂きたいが、24年度の事業として間に合うのかスケジュールを聞きたい。

市長 新しい総合操作卓を導入し、透明性の保てる一般競争入札方式を実施し、下請けは市内電気事業者とすることを原則とする。

問 東日本大震災で住民の情報入手先はラジオが39%で防災無線は4%だった。そこで同報系防災無線は屋外機で、室内機はFMに委託することがベターだと思うがどうか。

市長 FM会社の運営状況等を十分に見極め、慎重に検討する。

問 FMは緊急時の情報伝達、平常時の地域情報伝達、観光面でも大きな役割を果たすという事なので、是非前向きな検討をお願いしたい。

自然エネルギーの普及拡大の取り組みについて



しん風会 小松 洋一郎

問 県内の市町村に比べ、一步遅れているとおもわれる自然エネルギーの普及拡大に向けて、市長はどのように受けとめ取り組んでいくのか。

市長 エネルギーのあり方を考えたときに、エネルギーコストと経済性、環境変化など総合的な検証をすると共に市民意識や地域の将来を幅広く展望していく必要がある。今後、新たな自然エネルギーの導入に向けて、総合計画の後期基本計画に積極的な施策を展開していく。具体的には、地域資源の特性や優位性を活かす手段や手法を積極的に検証し、その成果が地域に還元されるような地域づくり、経済の活性化、雇用の確保に結びつくような思いで取り組んでいく。

発に着手できないか。
企画財政部長 総合計画後期基本計画や環境基本計画の見直しにより、十分な市民ニーズと組織横断的な庁内調整を図り推進していきたい。また、県の一村一自然エネルギープロジェクトによる補助事業等の活用や自然エネルギー・信州ネットとの連携を深め進めていく中で、情報交換や交流、技術の収集、蓄積等積極的に進めていく。

農林部長 小水力発電に取組む場合は、調査費から建設費まで含めた補助制度は確立されている。
問 太陽光、熱利用分野は市民環境部、小水力、バイオマス分野は農林部と部局が異なるが、新エネルギー推進課等の新組織案は考えているか。
企画財政部長 新エネルギーの取組みは、企画政策課が各部門と連携をとり推進していく。

【要約】
小水力発電では水利権、太陽光では農地法が課題のため、国の動きをフォローして欲しい。

問 今後の進め方として、自然エネルギープロジェクトを発足させ、エネルギーの地産地消の研究開発に取り組んでいく。

問 再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度により、資金が担保されてくると国の補助金も鈍り初期投資の資金面に支



北社サイト太陽光発電所

職員の窓口対応及び職員の健康管理について



公明党 小松 芳樹

問 平成23年11月に策定された「安曇野市職員接遇マニュアル」には、「市民の皆様をお客様と捉えて、ホスピタリティを發揮できる職場形成を目指す。」と書かれている。しかし私のもとには、ホスピタリティとは程遠い声が聞こえてくる。接遇マニュアルはどのように活用されているのか。そして市民からの苦情や要望の対応は、適切に行われているのか。

は、できないという理由を述べる前に、どうすればできるのかを考えるべきだと思う。ただし、法令・政令・法律等を違反することはできないので、しっかりとした説明責任を果たすべきだと思

に」の2テーマを施策の提案として受け付けている。最低1提案を出すような形で、また自分の部署で取り組めないことは、組織横断的な提案も含めて求めている。
問 職員が現役で亡くなる事があると大変大きな損失である。心身の健康管理の取り組みを伺う。
総務部長 健康診断の受診率は年々上昇し23年度は95.9%となった。①相談体制の充実整備として、人事課に保健士を配属、管理監督者を含む職員が、相談しやすい環境を整えた。②新規職員や管理職、一般職をそれぞれ対象にした研修会を行っている。③職場復帰支援ということでリハビリテーション実施要項に基づきスムーズに復帰できる体制を整えた。④問題が大きくなる前にカウンセリングできる体制を整えている。

市長 色々な場面面で職員に対する苦情は耳にする。まだまだ対応の悪さがあるのではないかとと思われる。分庁方式により職員が分散している中、どこかの支所でも同じサービスをするを目的に、接遇マニュアルを作成した。この7月から全職員に再度読み合わせをして、しっかりと自分のものとするよう指示をした。苦情への対応について

と連携し、水質の一層の保全、水質向上の取り組みを強化していきたい。
農林部長 堰の水に対しての関心事は今までは水量であった。今ではブランド化されている農産物もいくつもあり、きれいな水と空気に後押しされている。今後は水質管理も大事ではないかと思う。市内には12の土地改良区があり、土地改良区連絡協議会の中で議論をしていただいて、量の管理ばかりでなく、水質にも関心を持っていただきチェックする。

る。水質は工場で検査されているし、県の検査もあり問題はないと思うが、それを果たして河川・堰に大量に流しているのかと思う。できる限り地下浸透させていただくようお願いをしていきたい。
問 下水道事業の整備が進み、残るのは主として穂高地域となった。住宅が点在し、投資効率が悪い中、どう対応するのか。
上下水道部長 地域の説明会をし、事業の理解をしていただく。公共枿の設置についてより丁寧な説明をし、接続のお願いをする。既存の合併浄化槽設置者も早目に接続していただくようお願いをする。



平浜 昭次

市長の行政手法とその自己評価について

問 市長の行政手法の中で何点が伺う。先ず、人事の適正配置とその評価という点で一連の部長級職員がここ7年で5人も交代するという部局が複数見受けられ、合併して街づくりを推進していくべき時期とすれば好ましくないかと考えるが、基本的な市長の考えをお聞きする。

適正を見極めて総合的判断の中で市民の期待に応えて行きたい。

用については安曇野市の公民館選考委員会設置要綱に基づいて、委員会が採用決定している。直前市の幹部職員だった方が2名採用されているが、再任用とは全く関係なく一民間人として公募に応募し厳正に審査された上採用されたものである。

市長 確かにご指摘の様に部長或いは部局長において1年程で交代している状況が有る。部長職というものは、どこに配属されても自分の職責を全う出来るだけの見識を持たれた皆さんで無ければならないし、私もそのつもりで適材適所の人事配置をしてきたつもりである。又どの様な基準で部長を選んでいるかとの問題については、勤務実績・仕事に対する熱意・業績・評価・能力評価、そして何より健康状態や意欲、

問 引き続き、定年や定年前にリタイヤする幹部職員の再任用について、少なくとも再任用願いが提出された人について一定のルールがあるのか、公募制を採っている公民館長の採用にも真の公募制とは何かと思うような紛らわしい状況が有るように感ずる。この辺について具体的な事情或いはルールみたいなものがあるから説明願う。

感じた事は、それ自体は大変喜ばしい事だが余りにも対症療法的で全体像が全く見えてこない。つまりこの事をどの様に活性化に繋げて行くのかが見えてこない。基本的なソフト部分はどうか構築しているのか。

総務部長 4月1日現在18名の再任用をしている。勤務時間等は地方公務員法第28条に基づくもので、単年度契約である。最長65歳と言う事でその背景にはやはり年金の段階的引き上げがあり、実務的には職員構成、業務の運営等を考慮し本人の意向を確認の上配属を決定する。又公民館長の採用については安曇野市の公民館選考委員会設置要綱に基づいて、委員会が採用決定している。直前市の幹部職員だった方が2名採用されているが、再任用とは全く関係なく一民間人として公募に応募し厳正に審査された上採用されたものである。

問 事業施策のハード部分とソフト部分のバランスについて伺う。一例を挙げれば穂高、豊科地域のシャッター街にて空き店舗の利活用を図るとの事で応募者が数件あったとのマスコミ報道を見て感じた事は、それ自体は大変喜ばしい事だが余りにも対症療法的で全体像が全く見えてこない。つまりこの事をどの様に活性化に繋げて行くのかが見えてこない。基本的なソフト部分はどうか構築しているのか。

商工観光部長 一刻も早く市の方針を示したい。



平丸 山 祐之

安曇野のきれいな水、農業用水は守られるのか

問 先人たちの長い間の格闘の所産として、市内にはたくさん堰が縦横に張りめぐらされている。河川に加えて、堰は安曇野市の田園風景や農業環境を守っているだけでなく、文化遺産と呼ばれるまでになっている。堰は防災機能も果たしているが、何といても農業用水であり、きれいな農業用水こそが安曇野の農産物の付加価値を高め、安曇野全体の価値を高めることになる。農業用水に対する基本的な考えを伺う。

と連携し、水質の一層の保全、水質向上の取り組みを強化していきたい。
農林部長 堰の水に対しての関心事は今までは水量であった。今ではブランド化されている農産物もいくつもあり、きれいな水と空気に後押しされている。今後は水質管理も大事ではないかと思う。市内には12の土地改良区があり、土地改良区連絡協議会の中で議論をしていただいて、量の管理ばかりでなく、水質にも関心を持っていただきチェックする。

る。水質は工場で検査されているし、県の検査もあり問題はないと思うが、それを果たして河川・堰に大量に流しているのかと思う。できる限り地下浸透させていただくようお願いをしていきたい。
問 下水道事業の整備が進み、残るのは主として穂高地域となった。住宅が点在し、投資効率が悪い中、どう対応するのか。
上下水道部長 地域の説明会をし、事業の理解をしていただく。公共枿の設置についてより丁寧な説明をし、接続のお願いをする。既存の合併浄化槽設置者も早目に接続していただくようお願いをする。

市長 確かにご指摘の様に部長或いは部局長において1年程で交代している状況が有る。部長職というものは、どこに配属されても自分の職責を全う出来るだけの見識を持たれた皆さんで無ければならないし、私もそのつもりで適材適所の人事配置をしてきたつもりである。又どの様な基準で部長を選んでいるかとの問題については、勤務実績・仕事に対する熱意・業績・評価・能力評価、そして何より健康状態や意欲、

総務部長 4月1日現在18名の再任用をしている。勤務時間等は地方公務員法第28条に基づくもので、単年度契約である。最長65歳と言う事でその背景にはやはり年金の段階的引き上げがあり、実務的には職員構成、業務の運営等を考慮し本人の意向を確認の上配属を決定する。又公民館長の採用については安曇野市の公民館選考委員会設置要綱に基づいて、委員会が採用決定している。直前市の幹部職員だった方が2名採用されているが、再任用とは全く関係なく一民間人として公募に応募し厳正に審査された上採用されたものである。

感じた事は、それ自体は大変喜ばしい事だが余りにも対症療法的で全体像が全く見えてこない。つまりこの事をどの様に活性化に繋げて行くのかが見えてこない。基本的なソフト部分はどうか構築しているのか。

市長 当市の貴重な財産である良質な水についての基本的方針は、工場排水は下水道に接続し、農業用河川・堰に流入させないことである。当市は農地と工場が混在しており、水質は法令に基づき一定の基準はクリアしているものの、一部河川や堰に放流されている。今後は土地改良区の皆さん

と連携し、水質の一層の保全、水質向上の取り組みを強化していきたい。
農林部長 堰の水に対しての関心事は今までは水量であった。今ではブランド化されている農産物もいくつもあり、きれいな水と空気に後押しされている。今後は水質管理も大事ではないかと思う。市内には12の土地改良区があり、土地改良区連絡協議会の中で議論をしていただいて、量の管理ばかりでなく、水質にも関心を持っていただきチェックする。

る。水質は工場で検査されているし、県の検査もあり問題はないと思うが、それを果たして河川・堰に大量に流しているのかと思う。できる限り地下浸透させていただくようお願いをしていきたい。
問 下水道事業の整備が進み、残るのは主として穂高地域となった。住宅が点在し、投資効率が悪い中、どう対応するのか。
上下水道部長 地域の説明会をし、事業の理解をしていただく。公共枿の設置についてより丁寧な説明をし、接続のお願いをする。既存の合併浄化槽設置者も早目に接続していただくようお願いをする。



望まれる堰の水質管理

人材育成基本方針を策定してから5年、その成果は



しん風会 高橋 淨

問 人材育成基本方針の策定から一定年数が経過したが、現時点での成果はどうか。

市長 レポートの提出や研修報告会などを通じて、研修の直接成果を確認している。また、派遣研修を終えた職員を、派遣先で得た知識を生かした部署に配置することで、研修成果を発揮している。このように、基本方針に基づいて実施した各種研修、派遣研修により、取得した専門知識を持って、前例に囚われない法令遵守した仕事のノウハウを庁内に広めているところだ。

問 優秀な人材を確保することは、とても重要なことだ。本年度の職員採用状況はどうか。

総務部長 本年度上級職の試験を例に取ると、例年の1000人程度に対し、141人の応募があった。これは、受験予定

者を対象とする職場説明会の開催といった、受験者を増やす努力の成果が現れたものだと思われている。また、採用条件に住所要件を設けておらず、広く全国に優秀な人材を求める採用を実施しているところだ。

3人の部長級職員が退職している。家庭の事情、健康上の理由等とのことだが、慰留にもかかわらず最終的には本人の意思が固かった。

問 女性の管理職登用状況はどうか。感性豊かな女性の登用を提案する。

総務部長 本年度4月1日現在での課長職以上の男女内訳は、男性63人に対して女性3人となっている。適材適所を基本に能力のある女性職員は、積極的に登用していきたい。

○人事異動の基本方針について
【その他の質問事項】
○職員のコンプライアンスについて



安曇野市人材育成基本方針

明日をはぐくむために



信進クラブ 黒岩 宏成

問 人口の減少が見込まれる中、「総合計画」向こう5カ年を見据えた、後期基本計画策定の考え方を伺う。

市長 産業振興と雇用の場確保、健康長寿と子育て支援、人材の育成を重点とした施策づくりを示したい。次世代を担う人づくりは、子ども一人ひとりの理解を深め、個性を生かし、自主自立と人権尊重の精神を養い、豊かな人間形成となる施策にしたい。

問 今回の推計では、平成27年をピークに市の人口が減少するとなつている、児童・生徒の将来人口動態の推移はどうか。

企画財政部長 5歳から9歳は、平成29年は平成22年比315人減、10歳から14歳で335人減となる推計である。

問 市の定住人口の増進計画を至急進める必要があるが考えは。

教育長 学校教育システムから、児童・生徒数の推計では、小学校児童数が平成30年度では対19年度比252人の減となり、減少は免れないので、研究を進めていく必要がある。

問 児童・生徒のクラス数の格差はどうか。
教育次長 市の小学校と中学校の1・2年は35人学級で、3年のみ40人学級である。1クラスの最

少人数は小学校で17人、中学校で24人である。
問 全国学力テストの状況はどうか。また、子どもの学力と家庭での生活環境の間に相関関係はあるか。

教育長 小中学校ともに全国、県の平均正答率を上回っている。基本的な生活習慣ができている子どもは比較的正答率も高い結果が出ている。

問 昨年度、県の「笑顔で登校」事業が好評と聞くが内容は。

教育長 参加児童は4年生以上で139人、指導者は教員OBが主で31名、マンツーマンに近い形で教えてもらうことで学習意欲が出てきた。

問 乳幼児、保育児、児童の「遊びの場」を社会教育として環境を整えな
教育次長 「スポーツ振興計画」により、状況を検討し進めたい。

黒沢の治山・治水について



信進クラブ 平林 徳子

問 昨年8月7日、今年8月30日の豪雨により、黒沢川上流部、滝の沢や山越沢等で崩落があった。原因、対応、対策は。

市長 周辺二帯は保安林の為県林務部に災害復旧、再発防止の工事対応を要請。ヘリコプターと現地での詳細な調査を実施。

これを基に4カ年に亘る治山計画が策定され谷止工を4基設置する。今年度は黒沢の滝と黒沢ダムの中間点に谷止工一基を建設予定である。

森林整備として本数調整材50ヘクター実施。

農林部長 原因は古傷が随分広がっている状況を確認している。

問 黒沢ダムの安全性は。都市建設部長 昭和48年の建設。震度4以上の地震で点検パトロールを実施する。どの程度の震度まで安全かは持ち合わせていない。阪神・淡路大震災、東日本大震災にお

いて砂防ダムの決壊はなかったと聞く。
問 黒沢川の調節池についてはどうか。
都市建設部長 6月26日、国交省の有識者会議においてダム中止が承認されたので8月3日、県は河川整備計画の認可を申請。調節池を整備して洪水調整を行い、河道拡幅等で流下能力の確保を図り南黒沢川合流地点から赤沢橋まで調節池の設置、千国橋から真々部山道まで護岸整備、黒沢川下流端から安曇野排水路までの区間を接続する河造改修である。国からの認可を受け事業着手に向けた調査を県で実施する。計画期間は20年間。調節池の設置を最優先にお願いしている。

問 室山は観光客、子ども達、住民の皆さんに親しまれている。安全の為に管理や整備をするか。
都市建設部長 パトロール等して的確な維持管理に努めている。
農林部長 県の森林税による整備事業、国・県の補助事業等とり入れて間伐し、それを搬出する事業の導入が効果的と考える。

水道事業について

問 三郷の水道水源転換事業の進捗状況は。

上下水道部長 事業認可は9月末に取得できる見通しである。全体工事の実施設計業務を7月に発注し、本年度工事は上長尾配水池から室町調整池までの送水管布設を、25年度は送水ポンプ施設の工事に着手予定。26年度中に送水を開始する計画。

【要望】 水源転換後の農業用水・生活用水の維持管理については地区と協議して進めて欲しい。

【その他の質問事項】
○臭気対策について

総務委員会研修視察報告

8月7日～9日 富良野市・栗山町

富良野市

◆視察目的 市民参加のまちづくりルール条例

富良野市は46年前に市が誕生した。当時は3万人いた人口も現在は2万5千人を割っている。市民同士がまちづくりについて共に考え、共に行動していく為には、まちづくりの情報を共有することが最も重要と考え、平成15年に「まちづくり条例市民研究会」を発足し、「情報共有と市民参加のルール条例」から「協働の推進」を経て、最終目的の「まちづくり条例（自治基本条例）」を創るといふ3段階で進めている。今年度は「協働の推進」に着手した。現在、市民参加が多いとは言えないが市民が意見を出したい時に出来る状況（ルール）や機会を整備して

栗山町

◆視察目的 議会基本条例制定後の展開

平成12年の地方分権一括法の施行から議会改革に取り組んでおり、議会基本条例は議会活動を継続する為、条例に明記すべきであるとして平成17年に着手し、平成18年に全国に先駆けて制定された。条例には、町民や有識者等からの意見を聞くために「一般会議」「議会報告会」「議会モニター」「議会サポーター」の導入や設置が行われている。議会基本条例を7年運



富良野市での視察風景

用しての変化については、議会報告会を通じ、町民との信頼関係が生まれてきた。町の財政状況を議会も町民も理解し、また2元代表制下での議会と行政の立場の違いを認識されてきた等がある。町民との意見交換の中で課題となった事項の処理については、委員会や一般質問等に対応しているが、議会として行動すべき事項の処理は、今後の課題の部分もあることであった。これらを今後の行政及び議会改革において考慮したい。

福祉教育委員会審査報告（抜粋）

議案第 65 号	安曇野市公民館条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）
議案第 69 号	平成 24 年度 安曇野市一般会計補正予算（第 2 号）（福祉教育委員会所管事項） （賛成多数で可決）
審査内容	（原案に反対の意見）（豊科体育施設管理費、南部多目的運動広場外） ・グラウンド設置には反対ではない。霞堤という河川に沿った場所にグラウンド用地を確保するのは危険な状況である。霞堤は急流河川に多く各地でゲリラ豪雨や洪水などの氾濫があり、安全が十分確保できるか疑問が残る。子ども達の夢を叶えていくためには、まずは安全第一であり、グラウンドへのとりつけ道路の問題についても十分に納得した上でもっと調査研究してから購入すればよいと思うので、反対。 （原案に賛成の意見） ・これだけの面積を確保できる土地は市内にはまず他にはない。まずは土地を確保して、合併特例債の中で道路整備をして、一刻も早く作ってほしい。堤防の際で危険とは言いが、他のグラウンドや色々な施設にしても 100%大丈夫だと確約できる場所はない。また、防災無線が整っていて、豪雨などあれば避難できる。また、ダムが決壊すればグラウンドだけでなく全てが流される。これだけの土地は南部地域には他にあってがなく、早く購入してほしいので、賛成。
	議案第 69 号 平成 24 年度安曇野市一般会計補正予算（第 2 号）に対する附帯決議
	10款(教育費) 6項(保健体育費) 2目(保健体育施設費) に補正予算案としてある、南部多目的広場の購入予定地は、霞地域であるため、市民の安心・安全性について、行政は市民に対し説明責任がある。現時点では十分とは言えず、市民に説明責任を果たした後に、予算執行することを求める。
審査内容	（反対の意見） ・10月に出る評価委員会での結果を待ってということだが、ちょうどいい場所があり、そこがたまたま霞地域であったということで、これから解決に当たれば、良いグラウンドができていくのではないかと。事業をストップさせるのではなく、このまま進めていくべきであり、附帯決議には反対。 （賛成の意見） ・予算執行自体は、決してストップではない。10月の評価委員会の結果を見て、その時点で安全性が確保されていれば、執行しても構わない。それまでは霞地域であるこの場所の安全性を十分に再度検討してほしい。また、この土地自体の地下水のことも検証する必要がある為、附帯決議に賛成。 上記のような意見を踏まえ、採決を行った結果、賛成多数で、「附帯決議を付すこと」と、決定。
議案第 84 号	平成 23 年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について（福祉教育委員会所管事項） （賛成多数で認定）
請願第 10 号	安曇野市福祉医療制度の見直しを求める請願書（継続審査）
審査内容	（審査を継続したい意見） ・請願項目に3項目あり、それぞれに違った面を含んでいるものであるため、同じテーブルで論じると考えがまとまらない。請願項目の2と3に関しては勉強をしたいので継続としたい。

建設水道委員会審査報告（抜粋）

議案第 84 号	平成 23 年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について（建設水道委員会所管事項） （全員賛成で認定）
議案第 89 号	平成 23 年度 安曇野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について（賛成なしで不認定）
審査内容	（認定に反対の意見） ・滞納繰越分のうち、消滅時効等により不納欠損処理すべき額が 5,186万円生じているが、今まで一度も不納欠損処理をしていない。 ・特に要望としては、これまで不納欠損処理をしてこなかったことを教訓とするとともに、管理回収体制の抜本的改革による再発防止に努めること。また、市民の不公平感を取り除く手立てを講じること。
議案第 90 号	平成 23 年度 安曇野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について （賛成少数で不認定）
審査内容	（認定に反対の意見） ・下水道事業特別会計と同様である。ただ、不納欠損が見込まれる件数・金額は、少ないが、それを理由に認定する分けにはいかない。

総務委員会審査報告（抜粋）

議案第 69 号	平成 24 年度 安曇野市一般会計補正予算（第 2 号）（総務委員会所管事項）（賛成多数で可決）
審査内容	（原案に反対の意見） ・臨時財政対策債を例にとっても、具体的な対応策や知恵の出し方が非常に少ない。循環型健全財政と言われてきたが、政策的に行き違いがあると感じるので、反対する。 （原案に賛成の意見） ・臨時財政対策債を国が設けるならば、こういうところを活用して地域経済の活性化を図るべきである。
議案第 84 号	平成 23 年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について（総務委員会所管事項） （賛成多数で認定）
審査内容	（認定に反対の意見） ・今回の決算全体でみると一般会計、特別会計合わせて 910億円の借金がある。また、特定団体に対する支援の問題、税金の不納欠損と収入未済額の問題等から反対する。 （認定に賛成の意見） ・業務に対して目標を設定して、それがどうなったのか要望した記憶がある。まとめと反省が記載されており、これが次の課題へとつながると思う。充実して質があがっており賛成である。
請願第 11 号	住民訴訟の敗訴市民に対する訴訟費用請求の撤回を求める請願書（継続審査の採決結果：可否同数、委員長判断のもと否決、採択・不採択の採決結果：賛成少数で否決）
審査内容	（採択に反対の意見） ・住民訴訟に対する意義については、理解している。しかし、今回の住民訴訟では、市長が決断した内容は、司法にのってこれによって裁かれたものである。これに従うべきである。 （採択に賛成の意見） ・私的利益の目的ではなく、住民訴訟の意義というものを広く評価し今後につながっていくような状況を議会としても作っておくべきだと思うので賛成する。 （審査を継続したい意見） ・まだ審議が足りないので継続審査としたい。

環境経済委員会審査報告（抜粋）

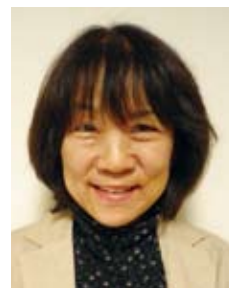
議案第 64 号	安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）
議案第 83 号	平成 24 年度 安曇野市営宿舍事業会計補正予算（第 1 号）（全員賛成で可決）
審査内容	（要望・意見） ・大天荘のトイレ改修について。トイレというのは結構お金がかかる。水を使い、またその処分等に多額の費用がかかるため、十分費用について検討してほしい。
議案第 84 号	平成 23 年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について（環境経済委員会所管事項） （全員賛成で認定）
審査内容	（要望） ・成果報告書について。原発事故が起きたことを受けて、市は迅速な対応を行ったこと、測定器を購入したこと、空間放射線量の測定を行っていることなど、大切な事業なので、事業の成果としてきちんと報告してほしい。
議案第 86 号	平成 23 年度 安曇野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について（全員賛成で認定）
議案第 87 号	平成 23 年度 安曇野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について （全員賛成で認定）
請願第 2 号	県に対し、住宅リフォーム助成制度創設の意見書を提出することを求める請願書 （全員賛成で継続審査となったため、審査未了）
審査内容	（意見） ・県産材の利用という県の事業と、市の事業とは、別のコンセプトで行われているものであり、市の事業に県の事業を上乗せし行った場合あまりメリットがないように感じる。

市民の

The Voice



声



磯野 康子さん
(穂高)

世代を超えた優しい故郷づくりを願って

遠方

に住んでいた母が、安曇野に来てから4年が過ぎました。現在、要介護度3ですが、豊かな安曇野の自然に触れ、笑顔満開で生活しています。「なんていいところ」と母の言葉にはいつも、感嘆詞がいっぱいです。

しかし、母と暮らすようになり、『老い』とか『高齢化』ということを、より身近なものとして感じるようになりました。

高齢

安曇野市はすでに25%を超えています。団塊の世代が後期高齢者に達する12、3年後には30%を超えるのは必至です。自分たちに、これから降りかかってくるであろう現実を考えると、不安が増すばかりです。

りです。

私も

母を介護するようになり、実感することがあります。車椅子で移動する時の段差、買い物時の通路確保の難しさ、公園に出かけても、安心して座れる椅子が少ないなど、自立歩行が難しい人々には、ハード面ひとつをとっても問題が沢山あります。

急速に押寄せる高齢化社会。税金増が見込めない中で、医療費、介護費の増加が財政を圧迫することは明らかです。

市議

市議員は、最も我々の生活に密着した位置にいる議員です。その判断が安曇野市の将来像を左右すると言っても過言ではありません。10年、20年後を見据えて、未来の大人たちに重い

荷物を背負わせることの無いよう、真に今やるべきことは何か、予算はこれでもいいのかどうか、的確な判断が求められます。市政のプロフェッショナルとしての自覚と誇りを持って、邁進して頂きたいと思います。

ろん、私たちも、安曇野の良さをフル活用して、元気に年を重ねていかねばと思います。安曇野は変わらぬ自然が息づき、そこに暮らす人々にも優しい郷であって欲しいと願っています。

もち

9月議会をインターネットで部分的に視聴しました。ネット配信大賛成です。ぜひ続けて頂き、多くの市民が議会に関心を寄せるようになることを期待します。

付記

9月議会をインターネットで部分的に視聴しました。ネット配信大賛成です。ぜひ続けて頂き、多くの市民が議会に関心を寄せるようになることを期待します。

編集後記



◆3. 11(東日本大震災)から2回目の秋。福島県の友人が我が家を訪れた。妻が用意した「生坂村の灰ころがしおやき」を食しながら会話が進んだ。

「続く揺れ(地震)に孫がいまだに怖がる。子どもたちに3. 11の恐怖が心に残った。ケアが必要」とも付け加えられた。福島の復興は容易ではない時間を要する。与謝蕪村が東北で詠んだ句から「宿かさぬ灯影や雪の家つづき笠の身に地震知り行く夏野哉」。江戸の時代に蕪村も地震を体験していたことを思いだした。

内川集雄

◆灰ころがしおやきを食すると歯が痛む年齢になった。幼少の頃から歯を丁寧に扱っていればそんなことはないのだろうが、もう遅い。日暮れて道遠し。「明日のこと? そんなに先のことはわからない」というハーポビルド小説の台詞が身に沁みる秋だ。

山地重雄

議会広報特別委員会

- 委員長 吉田 満男
- 副委員長 相田登美枝
- 委員 小松洋一郎 畠山 倉光
- 藤原 陽子 山地 重雄
- 内川 集雄 下里喜代一
- 平林 徳子 丸山 祐之

*お気軽にご意見をお聞かせください。

平成 24 年 安曇野市議会
12 月定例会会期日程 (予定)

11月30日(金)~12月19日(水)頃を予定。
皆様の傍聴をお待ちしています。

安曇野市議会だより 第28号

〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川 2750-1 安曇野市堀金総合支所内

平成 24 年 11 月 7 日発行
TEL 0263-71-2156 FAX 0263-71-2150

http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html
E-mail:gikai@city.azumino.nagano.jp

発行 長野県安曇野市議会
編集 議会広報特別委員会
印刷 有限会社安曇印刷

100 古紙配合率 100%
再生紙を使用しています。

